

04 葬儀は過程。 遺品整理によって 家族も気持ちの 整理ができる

●キーパーズ 代表取締役
吉田太一さん

当社は、もとは「日本初の引っ越し屋さんのリサイクルショップ」です。引っ越しの時は、いらぬものが出る。引っ越し屋さんで電話して、リサイクルショップにも電話して……というのは大変だから、うちで両方やりますよ、と。その仕事をしているうちに、亡くなった方の部屋の片付けができてなくて困っている人たちに会いました。それなら、うちには片付けや清掃のノウハウはあるからやりましょう、と。それが、日本初の遺品整理会社、キーパーズの始まりです。



キーパーズ 代表取締役
吉田太一さん

「遺品はゴミではない!」と考え、2002年に日本初の遺品整理専門会社キーパーズを設立。以降、全国各地の約8000件以上の遺品整理を施工。2006年には初めての著書「遺品整理屋は見た!」を出版し、2011年にはテレビドラマ化される。また、同社がモデルとなったさだまさしさん原作「アントキノイノチ」も2012年に映画化。



キーパーズ関連書籍
私の遺品をお願いします。
著者：吉田太一
定価：本体1300円+税
出版：幻冬舎

遺品整理というのは本来なら遺族がやることで、こんなサービスはないほうがいいのかもありません。しかし現実には、片付けたいけど片付けられなくて困っている人が非常に多い。最近ではひとり住まいで、親戚とも何十年も音信不

通のまま亡くなる方も多いのです。そうなる、遺族も困る。葬儀は数日で済みますが、遺品整理のために会社を休むわけにはいきません。特に遠方に住んでいたりとすると、大変です。葬儀よりも遺品整理のほうが、ずっと時間がかかりますから。

遺品整理の現場には、その人の生きざまが残っています。片付けていると、遺族の知らないことに気づくことも。遺品整理を終えて、すっかり部屋をきれいにするので、その人の生きざまを消していく。だから、遺品整理によって遺族にも気持ちの整理がつくのです。そういう意味では、葬儀よりも意味深い仕事だと思っています。

おひとりさまでも だいじょうぶノート。



人生のエンディングのためだけでなく、これからの残りの人生を有意義に生きるための内容を盛り込んだキーパーズ独自のエンディングノート

キーパーズのCSR(企業の社会的責任)への取り組みの一つ
「おひとりさまでもだいじょうぶノート。」の無料配布

以下の必要事項をご記入の上、キーパーズまで「ハガキ」でお申し込み下さい。

- 郵便番号 ●ご住所 ●お名前 ●ご年齢(差し支えない方で結構です) ●お電話番号 ●ご希望冊数(1冊・2冊)
- ※一世帯様2冊までとさせていただきます。
(送料無料：ヤマトメール便にてお届けします)
※ハガキの他、メールフォームからお申込みを受け付けております。

e-mail: endingnote@at-at.jp

※お電話でのお問い合わせは、ご遠慮願います。



左：お預かりした遺品については遺品供養をおこなっている。下：利用されたお客様からの感謝の手紙が社員の目の届く所に掲示されている

